



新年の挨拶 理事長

愛光会 理事長 豊嶋 和孝

あけましておめでとうございます！

昨年は、右をみても左を見てもコロナ、コロナ、コロナで良い話もかき消されてしまったように思われます。そんなときに不謹慎と思われる方もおられるかもしれませんが、ご容赦下さい。ほとんど巣ごもり状態の毎日を過ごしていましたが、それではいけないと我が町にある、海拔 339m の“六ヶ岳（むつがたけ）”に夫婦で登山（マスク着用）をしてきました。生まれてこの方、初めての地元の低山登山でした。青く澄み切った空に白い雲、360 度の展望にしばしコロナ禍を忘れて楽しむことができました。

さて、昨年の愛光会の運営は、コロナ、コロナ、コロナで行事等が縮小、中止の連続でした。このコロナ禍の中で利用者のみなさん、保護者（家族会様を含め）の皆さま方のご理解とご支援、ご協力をいただき、また職員一同も感染防止に公私ともに努め、一人の感染者を出すこともなく、ここまでこぎつけることができましたことを心より感謝し、御礼申し上げたいと思います。

行事の縮小、中止が多かったそんな中で、利用者の皆さんに少しでも喜んでいただけるように、ストレス解消になるようにと、職員一同知恵をしばって新たな取組を行い、利用者の皆さんにも大変喜んでいただきましたことは、当法人にとって新たな前進だと喜んでます。

コロナの終息がまだまだ見通せない中、今後とも“一人の感染者も出さない！”を合言葉に法人・施設と家族会の皆様方で手に手を取り合って、利用者の皆様をコロナからお守りして行こうと改めて決意しているところです。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

最後に昨年の主な改善等の実施内容をご紹介します。

- ・新グループホーム“ペガサス”完成、運用開始
- ・清浄学園内電話機老朽化による故障にともなう全台入れ替え
- ・セルフ清浄制服（夏服）の更新（新デザイン）
- ・清浄学園重油ボイラー排煙用煙突の修理（台風 9 号による折損被害）
- ・セルフ清浄裁園作業場の屋根の修理（台風 9 号による一部破損被害）
- ・清浄学園本館屋上防水改修工事（豪雨時の居室雨漏防止対策）
- ・シズキ福祉工場外壁（老朽化に伴う）改修工事
- ・清浄学園公用車（マツダボンゴ）老朽化による軽バン（スズキエブリー）への買替
- ・防犯カメラの増設（学園・グループホーム）
- ・家族会様よりのコロナ禍での利用者様へのお菓子類等のご寄贈
 （5 月、7 月、8 月、12 月から年始にかけてのお菓子類、鬼滅の刃本全 23 巻、クリスマスケーキ、寿司ディナー、クッキー等々）
- ・（株）日立製作所様よりの冷蔵庫ご寄贈
 →（新築グループホームへの）
- ・小川知事の“知事のふるさと訪問”
 →（セルフ清浄ご視察；チーズケーキご試食含む）
- ・コロナ対策として、家族会様、保護者様方からマスク等、その他国、県、市、企業様からの補助やいろいろな物品等をご寄贈いただきました。どうもありがとうございました。



家族会様より頂きました
 “鬼滅の刃”
 利用者の方に
 大好評です
 ↓



新年の挨拶 家族会会長

家族会 会長 原田 徹

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染被害に明け暮れた1年でしたが、家族会の皆様も大変な思いをされた事と思われませんがどの様な新年をお迎えのことでしょうか。幸いに愛光会の施設を利用している皆さんも施設関係者の皆さんも全員、1年間感染者を出さずに無事に過ごされました。

愛光会の各施設に新型コロナウイルスの感染者を出さない、持ち込まない、との強い思いで施設責任者をはじめ、全職員の皆さんが一丸となって取り組んできた結果であり本当にご苦労様でした。又それに伴い利用者の皆さんも3月より自宅帰省を自粛しています。その件につきましては新型コロナウイルス菌を絶対に施設に持ち込まない、との強い思いで施設関係者と十分に話し合い承諾をいたしました。家族会の皆様のご理解あって出来た事で深く感謝申し上げます。

愛光会職員（厨房、世話人さんを含む）の皆さんには春のゴールデンウィーク期間中、お盆休み期間中、又正月休み期間中も自分の休みを犠牲にしながらも施設利用者の皆さんの支援をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

この様な時に家族会として何か利用者の皆さんに出来ることはないだろうか、思い役員の皆さんの同意のもと家族会の皆様よりお預かりしております大切な会費より、春のゴールデンウィークの期間にクッキー等を配布しましたら大好評で多くの家族会の皆様より子供が喜んでいて、とのお便りを頂きましたのでお盆休みも同様に配布しました。クリスマスには少し大きめのケーキを食べてもらい、年末にはお寿司を食べてもらい、正月休み期間中はクッキー等の配布を実施しました。新型コロナウイルスが終息するまで季節に合わせて実施していきたいと思っていますので、ご理解くださるようお願いいたします。私達が一番心配しています障がい者施設の感染被害が高知市にあります（あじさい園）、北海道旭川市の（療育園）、小倉南区の（やまびこ園）で発生してしまいました。施設関係者はもとより、家族の皆さんも大変な思いをしています。愛光会施設には絶対にウイルス菌を持ち込まないように施設関係者の皆さんと力を合わせて頑張りましょう。

イギリス・アメリカではワクチン投与が始まりました。何の弊害もなく安全が確認されましたら日本にも6月頃には投与が開始されそうです。そうなれば利用者の皆さんに何の隔たりもなく会うことが出来る様になると思います。今少しの辛抱です。施設関係者の皆さんとよく話し合いこの難局を何とか切り抜けようではありませんか。

家族会の皆様も新しい生活様式を取り入れて、感染されないように注意されお過ごしください。昨年度中止せざるを得なかった家族会総会は何の心配もなく今年開催される事を期待しております。この様な世の中ですが、利用者と施設関係者の皆さん又家族会の皆様方が、健康で健やかな1年でありませう事を祈念して新年の挨拶といたします。



新年の挨拶 グループホーム施設長

清浄ホーム 施設長 古堅宗孝

明けましておめでとうございます。

前任の小林祥一GH施設長が定年退職され、昨年10月1日よりグループホームの運営を任せられた古堅宗孝と申します。本来ならば家族会総会でご挨拶を行うところでしたが、昨年は新型コロナウイルスの影響で、家族会総会が中止となり保護者の皆様にご報告する事が出来ませんでした。つきましてはこの場をお借りして改めてご報告、ご挨拶申し上げます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、生活面のグループホームを預かる身としては、今まで培ってきた風通しの良い明るく、楽しいグループホームを引き継いで、更なる向上を目指していきたいと考えています。泣いたり、笑ったり、喧嘩したりと極めて家庭的でアットホームな環境を目指しながら、今後も職員、世話人共々一生懸命お世話させて頂きたいと思っております。まだまだ不慣れな点もあるとは思いますが保護者の皆様のご支援、ご協力、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



新年の挨拶 清浄学園 施設長

施設長 橋本 忠輝

新年明けましておめでとうございます。

旧年中も、当園の活動に色々ご協力を頂きまして心よりお礼申し上げます。 昨年の挨拶文の末尾に「東京オリンピックで盛り上がる年になりそうです。活気あふれる一年にしたいものですね」と申し上げ、今年も利用者の皆様と行事やイベント、スポーツ大会等々を思いっきり楽しもうとしていた矢先に、「新型コロナウイルスの世界的な感染拡大」となり、一気に自粛生活へと転落してしまいました。今までの普通の生活が出来なくなり、「新しい生活様式」へと一変してしまいました。当園の活動においても計画した行事等がほとんどできず、大きく変化して利用者の皆様にとって「我慢・我慢」の一年となってしまいました。しかし、こうした中におきましても利用者の皆様の優しさは、これまでと全く変わることはありませんでした。利用者の皆様に、やむなく帰省や行事・自由な外出等の中止や条件つきといったお願いをしなければならなかったことになってしまいましたが、それでも「しかたないよね!」「しょうがないよね!」「コロナにかかっちゃいけないものね!」と毎回のようによく言ってくれた事にほんとうに感謝、感謝でした。利用者さんのそんな思いにどれだけ助けられた事か、われわれ職員一同はもう感謝しかありませんでした。(みんな一生懸命我慢してくれている事に胸が痛みましたが、それは言い換えれば、利用者みなさんの大きな成長でもあったと、うれしくもありました。)また、家族会の皆様方にも多大なるご理解、ご協力またご支援を賜りましたこと、ほんとうにありがたく厚く御礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、コロナ禍の一日も早い収束と、気兼ねなくみんなで思い切り楽しめる年になる事を願いつつ、ワクチン接種や治療薬の完成まで、これからも「一人も感染者を出さない!」の思いをみんなと共有し、感染予防に力を入れていくと共に、利用者の皆様が楽しく過ごして頂く為の工夫を、職員一同で考え実行して行きたいと思っております。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



© dak

新年の挨拶 セルフ・さくらんぼ施設長

施設長 森 浩二

新年あけましておめでとうございます。

平素は、当法人ご利用の皆様及びご家族の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましては暖かいご支援とご協力をいただき心からお礼と感謝申し上げます。

ご挨拶が遅くなりましたが、令和2年7月1日付でセルフ清浄及びさくらんぼの施設長に就任致しました、森 浩二と申します。当法人には1994年6月から勤めており、清浄学園での支援員を経てセルフ清浄に職業指導員として勤務しておりました。

2007年4月開設より当施設の礎を築いてこられた原田施設長の後を受け、施設長として携わることの責任の重大さを痛感しております。

日中活動におきましては新型コロナウイルスの影響によりさくら工房・さくらんぼの飲食関係が大きく打撃を受け、売上げが大きくダウンしていましたがクリスマスケーキやお歳暮の受注により回復傾向にあります。また、自動車部品加工関連では大手メーカー様のご協力により(世界60カ国に輸出用の部品加工)売上げは大幅にアップし年末は嬉しい悲鳴を上げるほどでした。並行して水耕栽培・椎茸栽培など野菜類も安定しております。これも利用者皆様のおかげだと思っております。

今後は、未だ世界や日本の経済がどのように変化していくのか予測出来ませんが、職員一同利用者様の安心・安全・安定をしっかりと考え、笑顔あふれる充実した日中活動が送れる様一層の努力を重ねてまいりますので御指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。



新年の挨拶 福祉工場施設長

施設長 口石 泰博

新年あけましておめでとうございます。

2001年に創業のシズキ福祉工場は今年20周年を迎えます。

特別支援学校の高等部を卒業して入社してきたメンバーは38才になり、生まれてから親元で過ごされた時間よりも長くなってしまいました。

現在世界的なコロナ禍で福祉工場の受注も減っており、厳しい状況ではありますが、指月電機様からは何とか毎日みんなが作業できるようご配慮頂いております。

現在メンバーは帰省も旅行などの大きな行事もなしで、大きなストレスを抱える環境がありますが、その中でも不良を出さず、納期を守っての仕事をして社会人として一所懸命頑張ってくれています。

コロナ禍が収まり、帰省や旅行ができる日まで、メンバー・職員が一丸となって頑張っていきたいと思っております。

最後になりますが、これからもご家族の皆様及び関係者の皆様、これまでと変わらないご理解とご支援をよろしくお願ひします。



小川県知事が訪問されました

施設長 森 浩二、支援員 森 義博、畠中 亜紀子

新型コロナウイルスに伴い自粛の長期化で、ストレスが溜まる毎日ですが「セルフ清浄」に突然明るいニュースが飛び込んできました。

利用者様皆さんの頑張りが認められ、11月16日に小川県知事がセルフ清浄を訪問して下さる事になり、当日は他に、江頭県議会議員、赤間嘉麻市長、廣方嘉麻市議会議長が訪問されました。

菓子工房さくらでは、利用者さんがクッキー生地を成形し鉄板に並べた後、トッピング、焼成の工程を見学されました。

その後、菓子工房さくらで1番人気のチーズケーキを試食して頂く事になり、友永鉄矢さん、藤野美晴さんが小川知事、他三名様が座られているテーブルまで、チーズケーキを上手に運んでくれました。「ふわふわ食感のチーズケーキです。どうぞ、お召し上がり下さい」と山崎綾香さんの完璧な説明の後、試食され「美味しい」と満面の笑みを浮かべながら完食されました。

水耕栽培園では、一面に育っている春菊の説明を行い「水耕で育っていますのでアクが少なく食べやすいです」と説明したところ、知事は「そうですね、アクは少ないですね、美味しそうですね」とお言葉を返され、知事の横で利用者の方が春菊の選別を行っているのを見て感心されていました。又、田中大貴さんが計量する際、知事は「200gはたくさんありますね」と袋詰めまでしっかり見学されていました。そして椎茸栽培の方も見学されて共に「今後も期待しています」とのお言葉もいただきました。



自動車部品加工の作業は、大手メーカー様の都合によりTVが入ることはできませんでしたが、利用者さんの高い技術に大変驚いておられました。

最後に、このような貴重な機会を頂いた事に深く感謝し厚くお礼申し上げます。この県知事訪問の様子は、2021年1月16日(土)20時54分から21時00分。「飛び出せ！サークル ふくおか研」(TVQ)で放映されます。どうぞご覧ください。

※画像出典：嘉麻市ホームページ

<https://www.city.kama.lg.jp/site/mayor/18540.html>

※画像出典：福岡県ホームページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/site/chiji-visit/visit-new.html>